

## ◆ 国税庁の平成15年度予算概算要求

**Q** : 国税庁が平成15年度予算概算要求をまとめたそうですが、どのような内容になっていますか。

**A** : 前年度を4.6%上回る7600億円あまりの予算を要求する方針を明らかにしています。目立ったところでは、KSK（国税総合管理）システムの運営費に560億円、電子申告関連の費用に479億円など、IT化関連に重点を置いているようです。

### 【解説】

国税庁の平成15年度予算概算要求では7663億5600万円を要求する方針で、KSKシステムの整備に560億円、電子申告・電子納税関連に479億円、税関事務高度化実現推進経費（インターネットによる関税等の納付システム）に215億円など、国税当局のIT化関連の予算が目立ちます。

KSKシステムはすでに導入されているもので、全国の税務署をオンラインで結んで、国税に関する情報をコンピューターで一元的に管理するシステムです。その一環として、申告書などの用紙がOCR用紙（光学読み取り方式のもの）に切り替わっています。

電子申告・電子納税は平成15年度に運用を開始する方向で準備中ですが、完成すれば、納税者がパソコンで作成した決算書や申告書などのデータを税務署のコンピューターで読み込むことで、申告・納税事務の迅速化が図れると期待されています。電子申告関連の予算には、納税者向けのIT講習会など啓蒙のための費用も見込まれているようです。

